

公開します！  
政務活動費

P.3

議会が **グッと** 近くなる  
つばめ市議会 ノートブック

発行 2016年 8月1日 No.44

一般質問

私はこう考える 市はどうする？

P.4-13

3 常任委員会視察レポート  
見てきました市内15カ所

P.15

**Action 24** 24名の議員が市民の代表として行動しています



# 一般会計 9,006万5,000円を増額補正

6月定例会の  
提出議案から

## ピックアップ5項目

3ページには  
政務活動費も



### ピックアップ 1 児童福祉 総務費

25万1,000円 [子育て支援課]

市は、「燕市幼稚園・保育園適正配置実施計画」を基に、燕市立つぼみ保育園と吉田西大田保育園の2園を民営化する計画を示した。これにからみ受け手となる事業者の選定を行う「事業者選定委員会」開催に伴う委員謝金などを計上。

**問** 選定委員会の構成や委員謝金の金額と、何回の開催を想定しているか。

**答** 児童福祉・幼児教育の学識経験者や、法人組織の財務分析ができる知識人のほか、児童委員・保護者代表・まちづくり協議会代表・園長会代表の計9人である。謝金は学識経験者・知識人それぞれ1万5,000円、その他は5,000円で4回の選定委員会を想定している。

**問** 今後も順次保育園の民営化を進めていくとうたっているが、最終的には全部民営化に移行させていくのか、その方向性については。

**答** 「適正配置実施計画」では、各地区内に1～2園の民営化を進めると明記しているが、現段階では、全ての保育園を民営化することは考えていない。



燕市立つぼみ保育園



ギンガ・ナニヲ・キイタノカ・ケイカヲ・ゴランクダサイ

### ピックアップ 2 地域 子育て応援団 育成事業委託料

90万円 [健康づくり課]

核家族化や地域のつながりが薄くなり、子育ての知識や経験を伝え、活用することが難しくなっていることから、シニア世代を対象に開催される「子育て応援団育成講座」の費用として計上。

**問** 講座開催場所や回数は。

**答** 2世代・3世代同居世帯の多い地域や、地域のネットワークがある地域などを考慮し、3回程度を予定している。

### ピックアップ 3 社会福祉費 基金積立金

1,070万円 [社会福祉課]

社会福祉のため寄附金を、社会福祉事業基金に積み立てるもの。

**問** これまでの基金活用事例は。

**答** 平成27年度は吉田シニアセンタートイレの洋式化、また27・28年度は広報紙の音声訳のパソコン購入など、寄附をいただいた趣旨を生かし、高齢者や障がい者のために使わせていただくもの。

こうなります・こうなりました

### ピックアップ 4 燕市 国民健康保険 税条例の一部改正

医療費高騰による赤字続きの国保会計正常化のため改正。

**問** 改定による税収の増加はあるか。

**答** 7月の本算定で1,130万円増が見込まれるが、減額世帯数の増による差し引きで、880万円の増加を想定している。

### ピックアップ 5 旧燕工業高校 請負契約の締結

広域型特別養護老人ホーム(100床)建築のため解体。

**問** 当初5億8,431万円の予算計上だったが、3億7,908万円での契約となった理由は。

**答** 市街地でないために解体が容易であり、今回は予定価格の70.12%で落札できた。



／公開しています／

# 政務活動費



**政務活動費**とは、日本における地方議員が政務調査研究等の活動のために支給される費用です。

政務活動費の詳細は、各自治体の条例により定められており、議会の会派または議員に対して支給されます。交付額や交付方法については、自治体により異なりますが、共通している正当な支出は議員活動の範囲に関係する書籍等の購入費、議員研修会に参加するための費用、先進地視察の諸経費などです。

燕市議会の場合、交付額は会派（所属議員が1人の場合を含む）に対して、会派の所属議員数に月額1万2,000円、12ヵ月分を一括して交付しています。

なお、残額がある場合は返還することになっています。



議会ホームページでは平成19年度からの政務活動費の収支報告を見ることができます

## 会派別交付状況(平成27年4月～平成28年3月)

単位：円

会 派 名 会派議員数		輝翔会	大河の会	市民 クラブ	日本共産党 議員団	公明党 議員団	スワロー クラブ	流水舎 (H27.9まで)	山崎光男	タナカ・ キン	田辺 博	合計 (=議員数)
内 訳		8人	3人	3人	3人	2人	2人	(2人)	1人 (H27.10から 無所属へ)	1人 (H27.10から 無所属へ)	1人	24人
収 入 の 部	政務活動費交付額	1,152,000	432,000	432,000	432,000	288,000	288,000	144,000	72,000	72,000	144,000	3,456,000
	雑入（預金利息）	69	27	16	58	31	11	0	0	3	16	231
	会 派 等 負 担 額	0	15,468	0	0	0	268	0	8,304	0	0	24,040
	合計①	1,152,069	447,495	432,016	432,058	288,031	288,279	144,000	80,304	72,003	144,016	3,480,271
支 出 の 部	調 査 研 究 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	研 修 費	1,111,334	447,495	339,588	17,860	129,260	288,279	0	78,460	0	88,050	2,500,326
	広 報 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55,760	55,760
	広 聴 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	会 議 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	資 料 作 成 費	0	0	0	0	0	0	210	0	40	0	250
	資 料 購 入 費	0	0	0	74,644	0	0	73,639	1,844	63,711	0	213,838
	人 件 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事 務 所 費	0	0	0	13,928	0	0	0	0	0	0	13,928
	合計②	1,111,334	447,495	339,588	106,432	129,260	288,279	73,849	80,304	63,751	143,810	2,784,102
	差引（①－②）	40,735	0	92,428	325,626	158,771	0	70,151	0	8,252	206	696,169
	政務活動費返戻金	40,666	0	92,412	325,568	158,740	0	70,151	0	8,249	190	695,976
	預金利息戻し入れ	69	27	16	58	31	11	0	0	3	16	231



シツテクダサイ・ギカイノ・コト





17名の  
議員が  
聞いた!

# 一般質問

6月議会では、17名の議員が質問に立ちました。  
全質問項目は下記のとおりです。5ページからの本文は、  
質問をした議員本人が要約して執筆しています。

## 5p 渡邊雄三 議員 (公明党)

No.1

1. 自転車利用者の安全対策について
2. 空き家対策について
3. 市民の安心・安全について

## 5p 白井丈雄 議員 (輝翔会)

No.2

1. 総務行政について
2. 教育行政について

## 6p 山本知克 議員 (大河の会)

No.3

1. アクティブシニア活躍のために
2. 生涯学習活動からボランティア活動へつなげるには
3. 犯罪抑止のために
4. 人権教育について
5. 高齢者の利用しやすい環境を求めて

## 6p 小林由明 議員 (輝翔会)

No.4

1. 福祉施策について
2. 人材活用について
3. 産業史料館について

## 7p 堀 勝重 議員 (輝翔会)

No.5

1. 平成28年度市政方針について

## 7p 埴 豊 議員 (スワロークラブ)

No.6

1. 福祉政策について
2. 教育問題について
3. 産業問題について

## 8p 土田 昇 議員 (日本共産党)

No.7

1. 大河津分水路の拡幅工事について
2. 国道116号交差点改良事業について
3. 県央大橋西詰周辺地区の予算について
4. 旧燕工業高校跡地利用について

## 8p 山崎光男 議員 (スワロークラブ)

No.8

1. 燕市の今後10年を見据えた燕マラソンの拡充と、交流・応援(燕)人口の増加について

## 9p 樋浦恵美 議員 (公明党)

No.9

1. B型肝炎ワクチンについて
2. 食品ロス対策について
3. 定住人口増戦略について

## 9p 齋藤信行 議員 (大河の会)

No.10

1. 新教育長に新任の感想について
2. 少子化対策について

## 10p 山崎雅男 議員 (輝翔会)

No.11

1. 安全・安心で暮らせるまちづくりを推進するにあたり
2. 農業情勢について

## 10p 柳川 隆 議員 (市民クラブ)

No.12

1. 第2次燕市総合計画について

## 11p 宮路敏裕 議員 (日本共産党)

No.13

1. 地方をとりまく景気動向と産業の振興について
2. 教育環境整備の促進について

## 11p 藤井秀人 議員 (市民クラブ)

No.14

1. 都市計画について
2. 観光の振興について

## 12p 長井由喜雄 議員 (日本共産党)

No.15

1. 国民健康保険の都道府県単位化問題について
2. 利用者、議会をないがしろにする公立保育園の民営化について

## 12p 大岩 勉 議員 (スワロークラブ)

No.16

1. 市長の政治姿勢について
2. 教育現場の振興策について
3. 防犯・消費者保護対策の推進について

## 13p タナカ・キン 議員 (無所属)

No.17

1. 教育行政について
2. 産業史料館の再生について
3. (仮称)観光交流センター等整備運営事業について



タクサンノ・ユトヲ・キキマシタ



# 地域住民の不安解消について

**問**

特定空き家等の基準まではいかないが、管理不全などで地域住民が防犯・環境等で困っているものや、不安に思っている空き家に対して、市としてどのような対応をしていくのか伺う。

**答**

特定空き家に至らず、さらに所有者不在の場合、相続等の権利関係が複雑であったり、債券などの利害関係者がいるなどで、市でも関与できない場合がある。しかし、指摘のような事例の場合に限っては、条例に則り所有者不在による告知を行って、当面はシートで覆うなどの緊急安全措置を施し、少しでも市民の不安要素の解消と、安心・安全の確保に努めていきたい。

**問**

近年、全国的に自転車が行者に衝突するなど、自転車側が加害者になる事故により、高額な損害賠償請求事例が発生している。

保険に入っていないことで極めて困難な状況に陥ることから、今後、自転車通学を許可する際のへ



特定空き家に至らない空き家



渡邊雄三 議員(公明党)

**答**

子どもたちの安全・安心な生活を守ることも、教育委員会の義務の一つと考えている。市としては、引き続き交通安全教室等で保護者へ保険加入についての啓発を進めながら、保険加入義務化について研究していきたい。

ルメット着用義務と同様に、保険加入を条件にすべきと思うが、いかがか伺う。



イッパンシツモンデ・ギインガ・グット・チカクナル

## 総務行政と教育行政について

**問**

いろいろな附属機関の中で、幾つもの委員を兼ねている人がいるが、負担ではないか。近隣市の現況はどうか。また、各審議会の中では、目的

**答**

現在、51機関に545名を委嘱し、当て職として134名が該当している。市の附属機関の設置基準は、市長就任時に課題点として、再任の制限や併任数、女性の積極的な登用や会議の公開などについて、県の

必要があるのではないかと。いろいろな審議会があるが、社会情勢等から必要性が低下し、形骸化していないか。

**問**

学校教職員の多忙化解消アクションプランは3月に終わったが、各校への県通知は徹底されたのか。市教育委員会での実質的な反省点はどこなところにあったのか。教育委員会は今後どんな取り組みをして、どう指導していくのか。

**答**

校務支援システムなどを活用して、業務の削減などを行った。市からの通知は行っていないが、県通知で徹底するように努めており、19時を退勤の目安とすることや年休消化に努め、意識改革を図るように取り組んでいる。道半ばではあるが、取り組みを継続していきたいと考えている。



多忙化解消アクションプラン



白井文雄 議員(輝翔会)



# シニア世代、あと20年を生き抜く

## 問

「楽しそうに健康教室や友達と買い物に出かける妻の姿を横目に、何かしなくてはと思うが、これまで仕事为中心的の人生だった。退職後、急に環境が変わっても、これといった趣味もなく日々淡々と過ごしている」。なんともつたいない。知識や経験豊かなシニア世代から社会参加が求められている中で、高齢化が進み将来に不安を持ち生活している、そんな声も珍しくない。生活の困りごとやボランティアニーズ発掘のためアンケート調査を行い、市民参画を検討されてはどうか伺う。

## 答

今年度後半に40歳以上を対象に、高齢者と介護保険関係のアンケート調査を行う。対象となる年齢層に近く、項目の補完や設問を工夫することで、対応は可能と考える。

## 問

シニア世代を対象にした生涯学習講座も多いが、学習経験を生かして、社会活動につなげる方は1割にも満たない。ボランティア活動普及に共鳴し、専門

的な資格や経験を持つ人からも参画を募るための考えを伺う。

## 答

男性を対象にした地域活動デビュー講座を、燕市社会福祉協議会と連携して本年9月より行う予定である。

また、教育委員会でも学習の成果を積極的に還元していただくために、「我が町の達人」や「まちの先生」等の人材バンク制度の再構築を図り、地域や団体からの活用を進める。



山本知克 議員(大河の会)

## 社会の持つ潜在的資源の活用を！

## 問

10年後の平成37年には、65歳以上高齢者の約3人に1人、約1300万人から1400万人が、認知症患者とその予備軍となると言われている。

認知症への施策は、社会保障制度を支える現役世代への支援とも言え、認知症の大幅な増加が見込まれる今後は、さらなる取り組みの拡充が必要であると考えているが、市の考えを伺いたい。

## 答

介護施設の整備を着実に実施するとともに、認知症の方や介護する方が安心して暮らせるよう、地



小林由明 議員(輝翔会)

## 問

空き家等を活用し、軽度認知症の方のお世話をお願いできる場の設置を、住民との協働により実現できないか。

## 答

空き家等の活用については、介護予防の面から利用できるかどうか、今後関係課と連携し研究を進めたいと考えている。

## 問

就労支援を行っている福祉事業所と、民間事業者との交流や結びつけの機会を積極的につくっていくべきではないか。

## 答

福祉事業所と民間事業者による交流や結びつけについては、自立支援協議会で協議していきたいと考えている。



「つばめキャンドル」では、障がいを持つ方による繊細で鮮やかなデザインのキャンドルが製作販売されている



# 変化に対応する農業の振興について

## 問

① 新たな産業振興部による、燕農産物の販路拡大、農商工の連携による施策及び事業等や強化、支援についての具体的な取り組み ② 燕青空即売会において、産業振興部の支援により、一般農家の方々が生産した農産物等を出店し、販売してみてもいい ③ 新潟市南区の果樹農家で経営がうまくいっている方がおられると聞いたことがある。このような方々を講師に迎え、講演会等を開催してみてもいいかが伺う。

## 答

農業を取り巻く状況は、国の米政策の見直しやTPPへの方向性、厳しい環境が待ち受けており、農商工業、観光の施策の連携による相乗効果を発揮していくことが重要である。産業振興部長には「部長目標宣言」を立ててもらい、「農商工の連携、新たな事業の構築」について宣言した。今後は、燕における商工業の強みを農業の分野にも積極的に取り入れながら、産業全体で活性化を図っていくことができるように取り組み



堀 勝重 議員(輝翔会)

を進めていきたい。①は、2課にまたがる部内のプロジェクトチームで検討を進めている。②は、メイン通りの枝道に農産物エリアとして出店できるよう進めたい。③は、「若手、女性農業者支援事業」のキックオフミーティングにおいて提案したい。



ミチカナ・モンダイヨ・ギインガ・キキマス

# 超高齢化社会に向けた介護人材確保

## 問

現在、第6期目の高齢者介護の取り組みが行われているが、介護施設の設置要望に追いつく施設整備は難しいのが現実である。また、一方では高齢者を介護する人材不足も大きな問題である。施設整備ができて、それを運営、維持する人材が確保できなければ、入所希望を満たすことはできない。介護施設で働く方の待遇問題が大きな社会問題となり、今後予想される超高齢化に向け、人材の確保・待遇改善は当然として、どのような方策を用いて人材の確保を図るのか聞きたい。



堀 豊 議員(スワロークラブ)

## 答

就労支援策と人材の掘り起こし策については、今年度より、現認者向け資格取得研修費用の2分の1を助成するなどの介護人材育成事業に取り組む。介護の仕事に若いころから関心や興味を持っていたため、市内介護サービス事業者の協力を得て、中学生の職場体験や高校生のインターンシップの実施を予定しており、さらに、介護という仕事のイメージアップを図る取り組みも検討する。



# 旧県立燕工業高校の 跡地利用は

**問** 旧燕工業高校の跡地については、合併後まもなく、厳しい財政状況の中で買入価格1億5358万3000円で買い求めたが、そのときもいろいろと問題があった。

その後、跡地利用として県立武道館の誘致に失敗し、それ以後、事業者提案制度も結果的に実現できず、今回6月議会での説明によれば、解体費用3億7908万円で合計5億3266万3000円の一般財源が必要になってくると思う。市長は、いま一歩立ち止まって考えるべきと思うが、その認識について伺う。

**答** グラウンドについては、「特別養護老人ホームの工事が終わった後に若者が集う場所に」との審査委員会の意見を踏まえ、子どもたちのためのサッカー施設の充実を願う要望なども考慮しながら、今後検討していくこととしている。

また、校舎棟第3棟・4棟については、当面第1棟・2棟に一時保



旧燕工業高校とグラウンド

管してあった遺跡資料の置き場として当面活用しつつ、旧燕工業高校の設立の経緯、あるいは県から譲渡を受けた経緯などを踏まえて、跡地にふさわしい利活用の仕方を検討することとしている。いずれも市民の便益に応え、満足していただけのような施設として有効に活用していきたいと考えている。



土田 昇 議員(日本共産党)

## 燕マラソンを拡充して、来燕者増を

**問** 今年の第27回燕マラソンを実際に走ったが、まだまだ工夫の余地や改善点が多く見受けられた。来

年以降、もっと多くのランナーに支持される大会にしていきたい。現行のレース全体を見直し、さらに魅力ある大会にできないか。

**答** 3年後の第30回記念大会に向けて、より多くのランナーに愛され支持される大会となるように、今後、教育委員会からいろいろ企画を考えてもらいたいと思っている。

**問** 昨今、マラソン大会は長い距離ほど人気がある。燕市



山崎光男 議員(スワロークラブ)



当日は悪天候にもかかわらず、533人のランナーが完走した

にもハーフマラソンがあれば今よりはるかに多くの参加者が全国から来燕し、本市の地域活性化効果が見込めることから、開催してほしいが。

**答** ハーフマラソンが開催されるかどうかは別として、コースなどの見直しを含め、さらに魅力的な大会となるよう研究し、関係機関と協議していきたい。

**問** 燕マラソン大会会場に飲食ブースや物販コーナーを設けて、分水おいらん道中のようなイベントに育て、燕市の文化を広く市・県内外にアピールできないか。

**答** 今年のマラソン大会は、燕市体育協会・ミズノグループに業務を委託し、一層大会が盛り上がった。今後はこの大会を通して、燕市の特色を広くアピールできるように、工夫を図りたい。



# 食品ロス対策、定住人口増戦略について

**問** 「食品ロス」とは、食べられるのに廃棄されることである。「飲食店で残さず食べる運動」の展開等、市民・事業者が一体となった取り組みが重要だが、考えを伺う。

**答** 「食品ロス」については飲食店で多く、宴会時における食べ残しが多くを占めている。県内外の自治体では、さまざまな取り組みがなされている。先進自治体の事例を参考に検討していきたい。

**問** 本年4月以降に生まれたゼロ歳児を対象とする、B型肝炎ワクチンの10月からの定期接種化について、燕市の取り組みを伺う。

**答** 9月末に対象者全員に個人通知を発送する。その他、広報・ホームページへの掲載、実施医療機関ではポスター掲示等を行い、周知を図る予定でいる。

**問** 若者のUターンを促進するため、「東京つばめいと事業」を昨年度から実施しているが、

事業の効果について伺う。

**答** 首都圏における燕市出身の若者の参加を募り、52名でスタートした。市内企業が開催する就職説明会に足を運び、地元就職への強い思いを持つようになったメンバーもいる。今年4月に4人のメンバーが市内等の企業に就職し、1年目としては効果が現れつつあると受けとめている。今後、事業の充実に取り組んでいきたい。



松本市で取り組んでいる「30・10運動」の啓発用コースター

樋浦恵美 議員(公明党)

イッショニ・ツバメシノミライヨ・カンガエマセンカ

## 少子化対策事業について

**問** 少子化対策事業の実施状況について、市民からの問い合わせや意見・要望等はあるか。

**答** イベントへの参加を検討されている方からは、対象年齢などの参加要件について、また独身のお子様をお持ちの親御さんからは、婚活イベントの開催予定やその内容などの問い合わせがあり、参加要件に見合う市や燕縁の会などの出合い応援団のイベントを紹介させていただいている。また婚活イベント等においては、参加者アンケートを実施

している。また婚活イベント等においては、参加者アンケートを実施



齋藤信行 議員(大河の会)



婚活イベント「つばコンin恋花火大会2016」のポスター

**問** 新教育長に、燕市の教育に対する思いについて伺う。

**答** 私としては、子どもたちの健やかな成長と夢の実現に向けて、さまざまな事業を推進し、例えば伝統文化を継承する人材、地域社会や産業の発展を担う人材など、将来の燕や新潟を支える人間を、人材を育成していきたいと考えている。

施。その中では、開催回数の増加・企画の多様化・対象年齢の拡大や女性に対する事前講座の開催などへの意見・ご要望があった。これに対しては、実行委員会の中で二つひとつ検討し、よりよい婚活イベントとなるよう取り組んでいく。

# 空き家・空き地活用 バンクについて



増えてきた空き家

化による施設等への有効活用に推進していくべきと思うが。

**問** 空き家バンクに登録されていた粟生津地域屈指の名門である鈴木家の跡地に、空き家等の地域貢献モデルにふさわしい小規模多機能施設「長善のさと」が完成し、不審火解消としても喜ばれているが、空き家・空き地の所有者登録申し込み数と活用申し込みについて伺う。

**答** 空き家・空き地活用バンクでは、平成24年度から今年5月末までの累計登録数は、市内所有者46件、市外所有者33件の計79件。活用申し込み数は市内26件、市外18件の合計44件で、うち34件が成約になり、成約率は77%である。

**問** 小規模多機能施設「長善のさと」のように、民設民営化による施設等への有効活用に推進していくべきと思うが。



山崎雅男 議員(輝翔会)

**答** 「長善のさと」は、諸条件が合致した極めてまれなケースで、全国に誇れる事例。今後も空き家対策を積極的に推進したい。

**問** 障がい児者・介護施設等や、若い世代の移住希望者に着目されるような制度のあり方等、いろいろな角度・視点で市民に喜ばれるような施設の利活用をお願いしたいが。

**答** 具体的施設利活用について、庁内検討委員会で検討したい。

**問** 富永地域で若い世代が意欲を持って農業に取り組み、農地集積・集約化に向けて圃場整備を切に願っているが、中断の理由は。

**答** 国道116号吉田バイパスとの関係で手順を踏み、市として期成同盟会を立ち上げ、国県に強く要望していく体制を整えたい。

## 3つの人口増戦略について



柳川 隆 議員(市民クラブ)

**問** 活動人口増戦略の副題「キラキラ輝く人を増やす」。これをどうやって把握するのか。

**答** 活動人口というのは「市民一人ひとりが主役となって主体的に行動する」。そういう人を私どもはキラキラ輝いている人たちだというふうに捉えている。具体的には、健康づくりマイストリー運動に参加する人、ボランティア活動に主体的に取り組むをするなどである。

**問** 国や県の施策では、人口問題や人口減対策がある。地方の自治体も同様で、どこも「人口増戦略」

**答** 国や県の施策では、人口問題や人口減対策がある。地方の自治体も同様で、どこも「人口増戦略」

などという表現をしているところはない。これはなぜだと思うか。

**答** 全体として、ほかの2つに人口は増やせると思う。だから人口増である。

**問** 2つ目の活動人口増戦略、3つ目の交流・応援人口増戦略は増やすことができるのは分かるが、それは人口問題と関係がなく、自治体が恒常的にやる必須事項だと思うが。

**答** 人口は総合戦略であるので、全てにおいてやる中で、人口減少の問題に対しても寄与するべきだ。

**問** この「3つの人口増戦略」と「日本一輝く燕市を目指して」は、市長が立案されたという共通点がある。1、奇をてらう。2、仰々しい。3、トリック的、マジックのレトリックを使う。4、意識の錯覚が受け手に生じる。この4点をどう思うか。

**答** 奇をてらう意識は全くない。

燕市の人口と世帯

男性	39,717人( -10人)
女性	41,729人( -10人)
合計	81,446人( -20人)
世帯	28,900世帯
平成28年5月末日現在( )は前月比	
市民課	

市のホームページ・広報に掲載





# 就学援助制度の一層の充実を

**問**

国の貧困対策大綱では、地方自治体に「貧困対策」の計画の策定をうたっている。就学援助制度は対策の一つである。市は、学校とも連携をとって周知し、目配りしていると言われるが、その上で課題はあるのか。

**答**

教育委員会では、毎年1月下旬から2月上旬まで、学校を通じて就学援助制度のお知らせと申請書を全児童生徒に配布している。また、ホームページや子育てガイド、「広報つばめ」2月1日号にも掲載し、周知を図っている。周知方法や申請などについて、今のところ要望などは寄せられていないが、今後とも学校と連携して、十分に情報が行き届くように努めていく。

**問**

新入学児童生徒のいる家庭にとって、3月は制服やカバンなど学用品の特別出費がある。就学援助の費目にある「新入学児童生徒学用品費」は、現在7月に支給されているが、その時期が3月であれば、家庭にとっては

**答**

助かることであり、また願ひである。新潟市では中学校入学時の支給時期を、3月に前倒しする改善措置を行った。児童生徒の学習権・進学権の保障という観点からも、同じ措置を検討すべきではないか。本市では、新入学児童生徒学用品費の支給は、課税状況等の確認後の7月に実施している。全県的には入学後に支給する市町村が多いが、入学前の支給が可能か研究していきたい。

援助費目	説明
学用品費	ノート・筆記用具等
通学用品費	通学用靴・雨傘等
校外活動費	校外活動に必要な交通費・見学費
新入学児童生徒学用品費	ランドセル・カバン等

就学援助費目の一部抜粋



宮路敏裕 議員(日本共産党)

ツギノ・ギカイハ・クガツ・デス

## 国上山・大河津分水のさらなる発信

**問**

国上山周辺や大河津分水の観光発信の新たな具体的施策は考えているのか。

**答**

国上山周辺の観光発信では、昨年度のトイレ改修に続き、今年度は道の駅・国上の改修を行い、食堂などのリニューアル、金属加工製品の販売など誘客に力を入れていく。新設するインフォメーションコーナーでは、良寛・大河津分水路などの情報発信をしていきたい。弥彦村との広域連携会議でも、首都圏からの誘客をターゲットにこの地域を発信する。さらに地方創生交付金を活用し、長岡市など12の市町村と



藤井秀人 議員(市民クラブ)

**問**

空き家対策と並行して、まちなか再生を考えているのか。

**答**

空き家対策の庁内委員会を4月に立ち上げ、特にまちなかの空き家・店舗の有効活用を検討している。2カ年で居住機能や医療福祉などの立地適正化計画をつくり、まちなか再生に取り組みたい。

**問**

環境変化に伴う転用の見直しや土地利用方針のゾーニングの見直しも可能か。

**答**

農振以外は比較的スムーズに許可されるが、農地法などの改正で農振除外は以前よりかなり厳しくなっている。



国上山にある千眼堂吊り橋



# 公立園民営化強制に 保護者は不信感

## 問

つばみ、吉田西太田保育園の民営化(案)が議会に示され、その内容は、保育園利用の当事者である子どもたちや保護者・地域やそこで働く保育士・議会をもないがしろにし、「施設の老朽化」など、一方的に当局の都合のいい民営化の理由、選定理由を連ねているものだった。「6月末に説明会、7月に事業者に要項を配布」という、強引な民営化押しつけのひどい内容だが。

## 答

少子化による園児数の減少・多様なニーズに対応するため、適正配置実施計画を策定し、施設の統廃合や幼保の一体化・公立保育園の民営化を進めてきた。今後この計画を進めていく。計画でも「各地区1〜2園の民営化を目指します」と記載している。「老朽化が進んでいる」という部分は誤記だ。これでは「市民は言われたことを聞きなさい」ということ。市民は納得しない。私が行ったアンケートでは「なぜ公立保育園を吉田南小学校区からなくさなければならぬのか」「既に改築済



長井由喜雄 議員(日本共産党)

み(一昨年3億8000万円余の市費投入)の西太田保育園を民営化するの矛盾している」「なぜ、つばみなのか。考える材料の提示もなしに民営化などと言わないでほしい」等、親は不安と不信感でいっぱいだ。この声にどう応えるのか。

## 答

公と私立という部分で大きな差はないというふうに見える。

### 現在の公立保育園に不満はありますか？

① 不満はない	39人	75%
② 多少不満	11人	21%
③ 不満だ	0人	0%

### 現時点で「民営化」に賛成ですか？ 反対ですか？

① 賛成する	0人	0%
② 反対する	23人	44%
③ どちらとも言えない	9人	17%
④ 説明を聞かないと判断できない	20人	38%

(回答数両園合計52名)

民営化についての緊急アンケート(長井実施)



イッパンシツモンデ・ギインガ・グット・チカクナル

## 公民館・体育館など使用料見直し検討

## 問

公民館・体育施設・文化施設などの使用料見直しはされるのか。小中高生や文化サークル活動者・高齢者による健康教室に対する減免対応はどのようになるのか。防災無線のチャイムメロディーを「みんなつばめのこども」など、分かりやすい音楽に変えるべきではないか。

## 答

「社会教育施設使用料見直し検討委員会」を設置して課題や論点を検討し、減免基準の整備を図り、まとも次第、議会や利用団体に説明する。メロディーは、ほかの曲を聴きたいとの声もあるので前向きに検討する。



大岩 勉 議員(スフロッククラブ)

### スポーツランド 燕

#### 【施設使用料】

		使 用 料			
		午 前	午 後	夜 間	一 日
体育館	アリーナ	5,500 <sup>円</sup>	7,700 <sup>円</sup>	8,800 <sup>円</sup>	22,000 <sup>円</sup>
	ミーティングルーム	1,000 <sup>円</sup>	1,500 <sup>円</sup>	1,500 <sup>円</sup>	4,000 <sup>円</sup>
多目的競技場	野 球 場	1時間につき			300 <sup>円</sup>
	ソフトボール場	1時間につき(1コート)			200 <sup>円</sup>
	サ ッ カ ー 場	1時間につき			300 <sup>円</sup>
	ト ラ ッ ク	1時間につき			300 <sup>円</sup>
	多 目 的 広 場	1時間につき			200 <sup>円</sup>
	放 送 施 設	1回につき			500 <sup>円</sup>
時間区分	《体育館》				
	午前…午前9時から正午まで		午後…午後1時から午後5時まで		
	夜間…午後6時から午後9時30分まで		一日…午前9時から午後9時30分まで		
	《その他の施設》 午前6時から午後7時まで				

## 問

学校運営に外部人材を活用し、教職員の負担軽減対策を考えるべきではないか。高校再編計画案で、分水・吉田高校が対象であるが、存続に向けた行動をすべきではないか。選挙啓発活動として「共通投票所」の設置をするべきではないか。

## 答

学校応援団事業の実施と、地域の人材を活用し学校支援をしていく。燕市内の高校が統廃合されないよう作戦を練っていく。「共通投票所」は、今後の検討事項とする。

## 問

防犯カメラの補助拡大と、悪質電話対策の推進について伺う。

## 答

現在33台設置されており、今後も最大限の支援をしていく。警察と連携し、特殊詐欺被害の防止に努めていく。



# 箱物でうまくいっている例はない

**問** 県央大橋西詰周辺地域整備基本計画策定懇談会が、平成26年8月から平成27年6月まで7回開催されている。その中で

燕三条地場産業振興センター（地場産センター）が道の駅となるという情報を受け、委員の反応や意見は。

**答** 地場産センターが道の駅に登録申請したことで、こちらはより明確な差別化を図り、相乗効果を上げるべきとの意見である。

**問** 懇談会の議事録をチェックしたところ、産業史料館の重要性や目的を理解していないと思われる意見が多数見られるが。

**答** いろいろな意見を聞かれたというふうに理解している。

**問** 委員は地場産センターを視察されたか。

**答** 懇談会の中での視察はない。

**問** 物産スペースは農産物の直売と合わせて300平方メートルだが、地場産センター物産館のスペースは。

**答** 300平方メートルと聞いている。

**問** 聞いてきたが、800平方メートルである。部長も地場産センターへ行って話を聞いている。国上道の駅には農産物の直売所があるが。



タナカ・キン 議員(無所属)



地場産センター内の物産館

**答** 資料を持ってきていない。

**問** 懇談会の視察先として、国上の道の駅に行っていない。申しわけないが、物事を進めるときの考え方が全くなっていない。農産物直売所のスペースは。

**答** 懇談会の視察先として、国上の道の駅に行っていない。

**問** 懇談会の視察先として、国上の道の駅に行っていない。申しわけないが、物事を進めるときの考え方が全くなっていない。農産物直売所のスペースは。

**答** 懇談会の視察先として、国上の道の駅に行っていない。

**問** 懇談会の視察先として、国上の道の駅に行っていない。申しわけないが、物事を進めるときの考え方が全くなっていない。農産物直売所のスペースは。

**答** 懇談会の視察先として、国上の道の駅に行っていない。

## 議会日誌

主な動きをお知らせします

4月25日	【産業建設常任委員会】市内視察
5月13日	【市民厚生常任委員会】市内視察
5月20日	【総務文教常任委員会】市内視察
5月26日	【議会運営委員会】行政視察（～27日）
5月30日	会派代表者会議
6月8日	議会運営委員会・議会報等特別委員会
6月9日	全員協議会・議員協議会・会派代表者会議
6月13日	議会報等特別委員会
6月16・17・20・28日	本会議
6月22日	総務文教常任委員会
6月23日	市民厚生常任委員会
6月24日	産業建設常任委員会
6月28日	議会運営委員会・全員協議会・議会運営委員会・タブレット端末の操作研修会・受賞祝賀会
7月4日	【産業建設常任委員会】行政視察（～6日）
7月5日	【市民厚生常任委員会】行政視察（～7日）
7月11日	【会派「輝翔会」】行政視察（～13日） 議会報等特別委員会
7月13日	【会派「大河の会」「スワロークラブ」】行政視察（～15日）
7月27日	【総務文教常任委員会】行政視察（～29日）

## 視察の受け入れ

5月18日	千葉県柏市議会会派「柏清風」行政視察
5月27日	栃木県真岡市議会「議会活性化等検討委員会」行政視察
7月1日	千葉県成田市議会「建設水道常任委員会」行政視察
7月2日	青森県八戸市議会会派「公明党」「自由民主・市民クラブ」「きずなクラブ」行政視察
7月5日	山形県河北町議会「総務産業常任委員会」行政視察
7月13日	愛知県みよし市議会「総務協働委員会」行政視察 滋賀県草津市議会会派「草政会」行政視察
7月21日	神奈川県横浜市議会「市民・文化観光・消防委員会」行政視察 群馬県千代田町議会「総務文教常任委員会」行政視察
7月25日	神奈川県茅ヶ崎市議会会派「絆ちがさき」行政視察
7月27日	岐阜県各務原市議会「市議会だより編集委員会」行政視察
7月28日	京都府向日市議会会派「新政クラブ」行政視察



タクサン・シサツニ・キテイタダキマシタ



# 6月定例会の議決結果

◎は全会一致、○は賛成多数、△は継続審査、×は否決

番 号	件 名	審議結果	番 号	件 名	審議結果
報告	3 専決処分の報告について（燕市税条例の一部改正）	◎	同意	3 人権擁護委員候補者の推薦について	◎
	4 専決処分の報告について（燕市国民健康保険税条例の一部改正）	◎		4 人権擁護委員候補者の推薦について	◎
	5 専決処分の報告について（燕市立幼稚園条例の一部改正）	◎		5 人権擁護委員候補者の推薦について	◎
	6 専決処分の報告について（平成27年度燕市一般会計補正予算（第10号））	◎		47 副市長の選任について	◎
補正予算	55 平成28年度一般会計補正予算（第1号）	○		48 監査委員の選任について	◎
				49 教育委員会委員の任命について	◎
条例	53 公職選挙法施行令の一部を改正する政令の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	◎	請願	50 教育委員会委員の任命について	◎
	54 燕市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○		1 燕市でのサッカーにおける環境整備を求める請願	○
その他	51 契約の締結について（旧燕工業高校解体工事）	◎	発議	2 少人数学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願書	◎
	52 契約の締結について（燕市中央公民館増築（建築）工事）	◎		2 少人数学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書	◎

網かけ( )は賛否が分かれた議案等です。下表もごらんください。  
議案番号 54・55 については、討論もありました。詳しくは議会ホームページをごらんください。



## 各議員の賛否

賛否が分かれた上表の網かけ( )の議案等について、議員別に賛否を公表します。

議案番号等	議決結果	合 計			輝翔会							大河の会			市民クラブ			日本共産党			公明党		スワロークラブ			無所属			
		賛成	反対	棄権	堀勝重	白井文雄	吉田勝利	小林由明	中山眞二	山崎雅男	中島清一	大原伊一	山本知克	丸山吉朗	齋藤信行	柳川隆	藤井秀人	渡邊広宣	宮路敏裕	長井由喜雄	土田昇	樋浦恵美	渡邊雄三	塙豊	大岩勉	山崎光男	タナカ・キン	田辺博	
補正	55	可決	17	5	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○
条例	54	可決	19	4	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願	1	可決	20	3	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ ○は賛成、●は反対、欠は欠席、棄は棄権。なお、議長（中島清一）は採決には加わらない。

## 請願の審査結果

6月定例会に提出された請願2件について審査しました。

ダレデモ・タセマス・セイガン・チンジョウ

### 30人学級の実現を求める請願

#### 請願理由（要旨）

1. OECD諸国並みの教育環境を整備するため、30人以下の少人数学級とすること。
2. 教育の機会均等、水準の維持・向上を図るため、義務教育費の国庫負担制度を2分の1に復元すること。

※採択された請願は、総理大臣はじめ関係大臣に燕市議会の意見として送付しました。

#### 請願者

新潟県教職員組合県央支部  
執行委員長 吉田 豊  
燕 班 班 長 岡島祐次

全会一致  
採択

### 燕市でのサッカーにおける環境整備を求める請願

#### 請願者

燕市大曲3015番地  
一般財団法人燕市体育協会  
会長 柴山義榮

燕市富永417-14  
燕サッカー協会  
会長 板屋健二郎

燕市小池5143番地  
燕市の子供達のサッカーを支援する会  
代表 青柳修次

賛成多数  
採択





# 市内 視察レポート

常任委員長からの報告です

## 総務文教常任委員会 (5/20)

視察先…燕こども園、中央公民館、小池中学校、吉田アーチェリー場、粟生津体育文化センター、分水総合体育館

燕保育園は建築後41年、燕西幼稚園は37年が経過していることから、燕保育園舎を増改築し2つの園を統合した「燕こども園」が4月に開園しました。園児と保育士が安心し、いきいきと過ごせるこども園であると感じました。

また、生涯学習活動の拠点としての中央公民館は、避難所機能の充実も図るため、耐震補強の改修を行いました。平成28年度は老朽化の著しい勤労青少年ホームを取り壊し、利用ニーズの高い軽運動場や調理室・防災備蓄庫などが増築されます。



燕こども園

## 市民厚生常任委員会 (5/13)

視察先…ワークセンター「やすらぎ」、高齢者生活支援施設「長善のさと」、つばめ療育館、特別養護老人ホーム「ときわ燕」

今年4月に開所した「つばめ療育館」では、発達障害のある子どもを対象として児童発達支援・放課後等デイサービス・障がい児相談支援などのサービスを提供しています。その特色の1つが、保健師の町村純子さんが考案した「まちむら式」による身体調和支援とのこと。近年対象児童は増加傾向にあり、早期発見と早期療育が大切。専門職員は「新生児から丁寧に発達の質を見て改善する子育て方法の支援の必要性を感じます。気づいた時点で対応すれば改善できないものはない」と話していました。



つばめ療育館

## 産業建設常任委員会 (4/25)

視察先…西蒲原排水中央管理所、市営住宅緑町団地、大河津分水路右岸高水敷、道の駅「国上」トイレ施設、藤次郎ナイフギャラリーほか

西蒲原排水中央管理所は、西蒲原一帯の用・排水を24時間体制で集中管理しており、現在の日本に名だたる穀倉地帯の水利の中心であるばかりではなく、近年多発する集中豪雨時にも威力を発揮し、地域を水害の被害から守る施設です。

大河津分水路右岸堤防対策事業では、大河津分水右岸高水敷工事<sup>きょうしんか</sup>で発生する残土を利用して、堤防の強靱化を行うとの説明を受け、最後に「藤次郎ナイフギャラリー」を視察しました。



西蒲原排水中央管理所



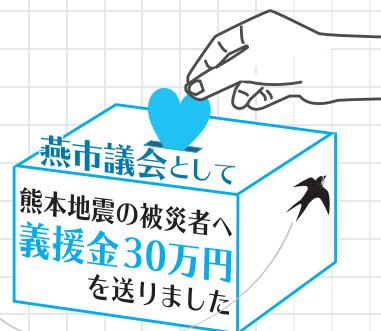
議員在職25年以上  
田辺 博 議員



議員在職15年以上  
渡邊広宣 議員

## 2名の議員が表彰

全国市議会議長会及び北信越市議会議長会から表彰されました。



しらやま ふじお  
白山 不二雄さん  
えいこ  
榮子さん(花見)

以前、駐車場があったときは今より来ていましたが、最近は月1回くらいしか朝市に来なくなりました。困るのは、車を停める場所がない上に、買い物の後、重い物を持って歩かなければならず不便なことです。そして、アーケードはやはりあったほうが良いと思います。

ノートブックは、たまに目を通す程度です。燕市に一番期待したいのは、もっと商店街を活性化してほしいということです。

美容室に来た  
ついでに……よねやま くにご  
米山 邦子さん(白山町3丁目)

主人が亡くなり、もうじき四十九日の法要になるので、美容室に来たついでに市に寄ってみました。主人が元気なときはよく一緒に来ていました。最近は看病し通しだったので、広報や議会だよりはたまに読む程度でした。今は娘と一緒にですが、孫が消防士になりたいと勉強中で、それが張り合いです。

年金問題などいろいろとありますが、世の中がいろんな事件で荒んできています。選挙のときばかり良いことを言わずに、もっと明るい社会にしてもらいたいですね。

店主とは昔ながらの  
顔なじみたまはし ひさこ  
玉橋 久子さん(中央通3丁目)

市日にはよく買い物に来ます。安くて新鮮なことや、店主と昔ながらの顔なじみなどで、市の買い物は楽しみの一つです。最近は人出も少ないようですね。

今、心配なことは、空き家が多いこと。犯罪行為や火災のことを考えると不安になります。もう1つは、介護施設の待機者の多いことでしょうか。どこの施設も満杯ですし、年金のことを考えると、少しでも安い所を利用したいと思わざるを得ません。

目当ての店に  
行くのが楽しみうえはら ゆみこ  
上原 由美子さん(秋葉町3丁目)

上越市から移って来て10年が経ちます。

市が立つ3と8のつく日に勤めの休みが当たると、月に1～2回買い物に来ます。目当ての店では、きんぴらごぼう・漬け物・季節の山菜などを買うことが多いですね。主人と二人暮らしなので少量で売られているのが助かります。

議会報を読んだことはありません。市への要望は、労災病院に行く「スワロー号」の本数をもっと増やしてほしいです。今は40分かけて歩いて行っています。

いち  
市でのおしゃべりが  
楽しいいづみ すみえ  
小泉 澄枝さん(殿島1丁目)

市にはよく来ますよね。野菜や惣菜などが目当てですが、顔なじみの農家の方のお店もあって、おしゃべりをしています。

燕市議会ノートブックはいつも見えています。分かりやすいんじゃないでしょうか。今、不便に感じるのは、市役所が遠くなったことです。申請手続に本庁舎へ行くことがありますからね。県立病院へは「きららん号」を使いますが、帰りの時間に便がないのが残念です。これは改善してほしいですね。

## 編集後記

時の移ろいは早いもので、2年の任期で今号を除くと、あと1号の発行のみとなりました。細やかな約束事がある定例会の一般質問や、全員協議会・各常任委員会での発言と違って、個室での編集作業は毎号「侃々諤々」「談論風発」で編集委員冥利に尽きるものでした。

柳川 隆

## 今号の表紙

しずか  
“閑さや岩にしみ入る蟬の声”。昔は、夏になると「ジー」「ミーンミーン」…と、うるさいくらい鳴いていたものでした。今では、アレっと思うほど静かです。幼虫は土の中で7年暮らすそうですが、道路や家が建ち、地上に出るに出来ないのかも…。

“土の中では何万のセミのとむらいするだろう”

## 【議会報等特別委員会】

委員 長：渡邊雄三 副委員長：長井由喜雄

委員：タナカ・キン 宮路敏裕 柳川隆 白井丈雄 山本知克 山崎光男

スマートフォンやタブレット端末からアクセスできます

